

町議会からお届けします

## かにえの議会



## 6月定例会特集号

- 一般会計補正予算などを可決  
高学年対象の学童保育を蟹江小学校で実施…P.2
- 蟹江町がもっともっと住みやすくなるように…  
8人が一般質問に立つ！…P.4
- 総務民生 防災建設  
常任委員会の審査／常任委員会活動報告…P.11
- 今年も開催します  
議会報告会／議員研修会を行いました…P.12



## 表紙の写真

須成祭のユネスコ無形文化遺産登録を祈願したポロシャツを着て6月定例会に臨みました。

# 定例会のあらまし

28年6月定例会は、6月2日(木)から23日(木)までの会期で開きました。

## ▼2日(開会)

条例改正案、補正予算案など、あわせて12件が提案説明され、そのうち、契約案件8件を全員賛成で可決しました。

## ▼9日(常任委員会)

総務民生常任委員会では、本会議から付託された議案1件を審査しました。

## ▼16・17日(一般質問)

8人が一般質問(13問)を行いました。  
 ※全議員が、須成祭のユネスコ無形文化遺産登録を祈願したポロシャツを着用し、一般質問を行いました。



## ▼23日(閉会)

最終日は、意見書案1件が追加提案され、質疑・討論を行った後、すべての議案を可決し閉会しました。

## 条例制定等を審議

### ○国民健康保険税条例の一部改正

(賛成多数)

28年度国民健康保険税から、次のとおり引き上げられました。

- ・基礎課税額  
52万円↓54万円
- ・後期高齢者支援金等課税額  
17万円↓19万円
- ・介護納付金課税額  
16万円から変更なし

※基礎課税額：医療保険に相当する部分で、病气やけがなどをしたときの医療費や出産一時金などの支払いに使われます。

※後期高齢者支援金等課税額：後期高齢者医療保険制度を支えるため、75歳未満の方が全員で負担します。

※介護納付金課税額：40歳から64歳までの方が負担するもので、高齢化を支える介護に要する費用に使われます。

### 《反対討論》

板倉議員

27年度に引続き28年度も国民健康保険税の課税限度額の引上げ改正である。国民健康保険税の減額には反対ではないが、低所得者支援のためには、判定基準額をもっと引上げる必要がある。

### 《賛成討論》

水野議員

法令改正に的確に対応し、国民健康保険税の負担軽減を主に実施される内容であり、妥当である。

## 補正予算案を審議

### ○一般会計補正予算(第1号)

(賛成多数)

補正額  
4392万4千円  
補正後の額  
97億7920万1千円

### 【内容】

#### ■子ども・子育て業務委託料

92万9千円  
 子どものための教育・保育給付費補助金事業を実施するため、電算システムを改修します。

# 6月定例会の主な内容

## ■学童保育所施設管理費

121万7千円  
蟹江小学校で夏季に高学年（4～6年生）を対象とした学童保育を行います。

## ■自由通路等整備事業

4020万円  
JR蟹江駅の駅南駅前広場の設計委託、自由通路整備工事委託、周辺まちづくり検証等業務委託などを行います。

## ■文化財保護等事業費補助事業

157万8千円  
須成文化財保護委員会への国及び県からの補助金の交付決定がされたため、町も補助します。

## ○債務負担行為補正

補正額	26億1千万円
事項	自由通路等整備事業
期間	29年度から33年度まで
限度額	26億1千万円

※債務負担行為：予算の内容の一部をなすものですが、歳出予算には含まれません。  
今回の場合は、29年度から33年度までの5年間で26億1千万円を限度額として事業を実施するということです。

## 《反対討論》

黒川議員

この補正の主たるものは、JR蟹江駅自由通路新設及び橋上駅舎化事業を行うためのものである。事業の優先順位、費用対効果を考えると、今急いでやる事業ではない。その他事業に係るものは賛成するものの、今回の一般会計補正予算に反対するものである。

## 《賛成討論》

安藤議員

JR蟹江駅自由通路新設及び橋上駅舎化に伴うもの、法改正に伴う保育料の軽減に対応するもの及び高学年学童保育所開設に対応するものであり、どれも必要不可欠なものである。

## ○国民健康保険事業

### 特別会計補正予算（第1号）

（全員賛成）

補正額	105万9千円
補正後の額	41億4224万3千円

国民健康保険制度改正に伴い、電算システムを改修します。

## 意見書を国に提出

議員の提案により国へ提案した意見書

◆「平成28年熊本地震」における迅速な被災者支援と早急な復興支援を求める意見書

※意見書の取扱い  
町議会では、全会派一致で採択されたものだけが提出されることになっていきます。

## 契約案件を審議

契約名	契約金額	落札業者
蟹江町公共下水道事業 下水道管きょ布設工事 学戸新田処理分区(その23)	6,480万円	山田建設株式会社
蟹江町公共下水道事業 下水道管きょ布設工事 学戸新田処理分区(その25)	6,966万円	株式会社戸谷組
蟹江町公共下水道事業 下水道管きょ布設工事 学戸新田処理分区(その26)	9,720万円	株式会社加藤建設
蟹江町公共下水道事業 下水道管きょ布設工事 学戸新田処理分区(その32)	9,774万円	山田建設株式会社
消防ポンプ自動車購入	2,964万 6千円	株式会社モリタ 名古屋支店
高規格救急自動車購入	1,701万円	愛知日産自動車 株式会社
高度救命処置用資機材・ 救急用資機材購入	1,263万 6千円	日本船舶薬品 株式会社名古屋支店
学戸小学校空調機設置工事	5,940万円	株式会社加藤建設

# 一般質問

一般質問とは、議員が執行機関（町や町教育委員会など）に対し、一般事務全般にわたっての執行状況や将来の方針などについて、事実の説明を求めたり、または所見をただすことをいいます。この6月定例会では、8人が一般質問に立ちました。

## 6月定例会の一般質問

会派名	議員名	質問の題名	掲載ページ
未来フォーラム	飯田雅広	町は病児・病後児保育をいつから始めるのか	4ページ
公明党	松本正美	安心な障がい者福祉の充実を図れ 教育行政を問う	5ページ
新風	石原裕介	蟹江町における保険料および、健康づくりについて問う	6ページ
新政会	奥田信宏	JR蟹江駅自由通路及び駅舎について	6ページ
日本共産党	板倉浩幸	JR蟹江駅の自由通路等整備事業について JR東郊線踏切の歩道整備について	7ページ
無会派	戸谷裕治	防災から考える保育所あり方を問う JR蟹江駅橋上化と周辺開発を問う	8ページ
無会派	伊藤俊一	子ども、子育て支援新制度について 最近、町内に配布されている横江町長に対するピラについて	9ページ
未来フォーラム	中村英子	蟹江南保育所と蟹江児童館について 町の平和事業と平和教育について	10ページ

## 未来フォーラム 飯田雅広

**問** 病児・病後児保育の実施時期を示せ

**答** 一日も早く進めていきたい



**問** 病児・病後児保育が委託できる医療機関が見つかっていないとのことだが、町内すべての医療機関に打診をする予定があるのか。

**問** 稲沢市・弥富市・大治町の担当課を訪ねて説明を受けたが、それぞれの状況にあった方法で実施していた。当町も町にあった方法を見つけようとするのか。

**子育て推進課長** 昨年度開院した医療機関には、事業の概要説明を行った。今後も引き続き、医療機関の方と話をする機会を設けたい。

**問** ファミリー・サポート・センター事業や町自ら実施することは検討しているか。

**町長** 可能性はある医療機関については、積極的に話をさせていた。一日も早く、病児・病後児保育が進められる施策を考えていきたい。

**子育て推進課長** 当事業をファミリー・サポート・センター事業として行う予定は今のところない。医療機関に委託する方法を第一と考えているが、直営で行う方法などあらゆる方法を検討していく必要がある。

※ファミリー・サポート・センター事業：「一時に育児のお手伝いをしてほしい方」と「育児のお手伝いができる方」が、地域の中で助け合いながら子育てをする会員組織です。  
(利用例)  
・保育施設への送迎  
・冠婚葬祭など



## 公明党 松本正美

**問** 安心な障がい者福祉の充実を図れ

**答** 障がい者の就労施設との連携を密にし取り組んでいく

**問** 改正障害者雇用促進法が施行された。そこで、①就労支援の促進は、  
②障害者優先調達推進法の活用による雇用機会の拡大は、  
③精神障がい者の就労支援と雇用対策の強

**問** 28年4月1日から障害者差別解消法がスタートした。そこで、①住民への周知徹底は、  
②問題解決のための職員研修は、  
③相談窓口での手話通訳や筆談体制は、  
**子育て推進課長**  
①4月に「愛知県障害者差別解消推進条例」のチラシを全戸回覧し、ポスターなどを公共施設に掲示、広報5月号へも掲載した。  
②今年度、専門の方を招き職員研修を実施する予定である。  
③手話奉仕員の養成講座などを開催しており、講座参加者にご協力いただきながら体制を整えていきたい。

化を図れ。  
**子育て推進課長**  
①地元で働いてもらうことが重要だと考え、就労に対するPR活動など、情報発信を行っている。障害者自立支援協議会と連携し、雇用の促進につなげていきたい。  
②町では、障害者計画の策定業務について発注した実績がある。同法を活用した発注の拡大を通して今後も努力を続けていきたい。  
③相談支援事業所である、町社会福祉協議会に相談をされた方を就労継続支援事業所につなげさせていただいた。また、海部障害者就業・生活支援センター、ハローワーク、障害者自立支援協議会と連携を深め、障がいのある方の雇用促進に努めていきたい。  
**町長**  
町内、近隣にある就労施設と連携を密にし取り組んでいく。

**問** 教育行政を問う

**答** 学校含め、地域と一緒に学習支援をしていきたい

**問** 学校・家庭・地域が連携した教育力の向上が求められている。そこで、①社会教育支援体制の取組は、  
②青少年育成の学びの場の提供は、  
③地域と学校を結ぶ地域教育コーディネーターの設置の考えはな  
**生涯学習課長**  
①家庭教育は、全ての教育の出発点であり、基本的な生活習慣、生活能力などを身につけるうえで重要な役割を果たしている。  
町としても、親子キャンプ教室などの家庭教育推進事業を実施している。  
**教育長**  
②学校で学ぶ以外に、生涯学習課や地域でいろいろな学びの場を提  
供することは大切だと思っている。  
③町にはまだ配置していないが、今後の課題としていきたい。



**問** 学校図書の実が求められている。そこで、①学校図書館の整備と学校司書の配置状況は、  
②ICTを活用した学校図書館の環境整備を図れ。  
**教育長**  
①図書室の整備は、図書委員会の生徒と担当教員が随時行っている。  
学校図書は、町には常駐していないが、資格を取った司書教諭が校務を行っている。  
**町長**  
②27年4月から始まった総合教育会議の中で、議論していきたい。

## 新風 石原裕介

**問** 保険料および、健康づくりについて問う

**答** 健康づくり事業の啓発、健康教育に努めていきたい



**問** 他の市町村は、国保の赤字が膨らんでいる現状があるが、当町は大丈夫なのか。

**保険医療課長**

27年度の国民健康保険特別会計の決算見込みは、一般会計から9千万円の繰入金があり、黒字の見込みである。

**問** 近年、国保と協会けんぽとの協力・連携を図る動きがあるが、当町も連携してはどうか。

**保険医療課長**

町にとって、協会けんぽとの連携は、がん検診などの受診率向上や、受診率向上により協会けんぽ加入者の健康増進となれば、国保加入に健康なまま移行され、保険料の軽減につながるなどのメリットがあると考えている。

**町長** 大変意義があることだと思う。できる団体から共同して進めていけるような対策を考えていきたい。

**問** 健康づくり対策として、スマートウェルネス（健康で幸せという意味）の理念を当町も取り入れたらどうか。

**健康推進課長**

かえ活き生きプラン21（第2次）の計画健康づくりに関する計画を進め、実施していくうえで、スマートウェルネスを提唱する事業が、町の健康づくり計画にさらに有効に取り入れられるかどうかを検討していきたい。



※スマートウェルネス：身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心・安全で豊かな生活を送ることのできるまちづくりを目標に掲げたもの。

「健康」と「幸福」という言葉を足した造語で、「健幸」という言葉を意味している。

## 新政会 奥田信宏

**問** JR蟹江駅周辺の発展はどうするのか

**答** JR蟹江駅周辺まちづくり検証等業務の中で検討していく



**問** JR蟹江駅は、北側だけでなく南側の発展も急務ではないか。

**まちづくり推進課長**

今回計上させていただいたJR蟹江駅周辺整備計画の中で検証していきたい。

**問** 駅と通路で、町は17億円の借金を予定しているが、駅北の区画整理組合からの寄附金を生かせば減るのではないか。

**総務部長**

起債額に寄付額の約2億7300万円を入れれば、起債額としては、14億円台に圧縮できる。



▲JR蟹江駅北側ロータリー

**問** 高齢化が急速に進む中で、車の利用でなく、JR等が町に必要との判断ならば、利用者が便利になるように、駅北、駅南にバスの定期乗り入れで近隣市町村と協力し、近隣に賑わい、発展を図れないか。

**政策推進室長**

近隣市町村を含むバス運行については、JR蟹江駅の自由通路整備事業が完了した際に、JR蟹江駅南北のロータリーなどを生かし、皆さんに活用していただけるようなバス運行事業を計画していきたい。



## 日本共産党 板倉浩幸

**問** JR蟹江駅の事業でくらしはどうか

**答** 生活に関わる予算には影響は出ない

**問** JR蟹江駅自由通路整備事業での建設費の負担割合について、①JRの負担があまりにも少ないのでは。②国の交付金が他自治体と比べて少ないのはなぜか。

**まちづくり推進課長**  
①国土交通省の定めた要綱により算出されている。  
②昨今は、国費の内示率が下がっている。5年、10年前に着手した事業と、これから着手する事業では、差が出ると想定される。

**問** 建設事業は、過去の例からも予算が増えるのは通例だがどうみているのか。

**まちづくり推進課長**  
協定額の大幅な変更がないように、事前の基本計画調査や概略設計を精査し、協定の締結を行う。また、もし増額した場合は、町とJRが協議し、検討することになる。

**問** 住民が一番心配しているのは、子育て・福祉サービス・くらし全体を考えると、これからの予算に影響が出るのではないか。

**産業建設部長**  
JR蟹江駅周辺整備事業には、多額の資金を要するが、事業に係る資金計画や財政計画の結果から、子育てや福祉など直接町民の皆さまの生活に関わる予算には大きな影響はないと判断している。



**問** JR東郊線踏切に歩道を

**答** JRには、継続して理解を求めていく



**問** JR東郊線踏切道の拡幅の状況はどうなっているのか。

**次長兼土木農政課長**  
25年に、JR側から他1か所の踏切を廃止すれば、東郊線踏切の拡幅が可能という確認ができたので、廃止踏切についての住民説明会を開催したが、住民の理解を得られず、進展は見られなかった。その経過を踏まえ、JRには、廃止踏切の地元合意が得られなかった報告や、開設当時は交通量等が増えている現状を訴え、理解を求めている。

**問** 補正予算の踏切道拡幅設計委託料315万円について、①執行されたのか。②内容はどうか。

**次長兼土木農政課長**  
①25年9月議会で補正予算が認められ、東郊線踏切道拡幅概略設計業務を委託した。  
②JRと協議を進めるため、東郊線踏切拡幅後の計画概要図など基礎資料を業務成果として得た。

**問** 国交省の踏切道改良促進法では、県知事が危険な踏切として国土交通大臣に申出ることができるとある中で、その手続きを経て指定を受けてはどうか。

**次長兼土木農政課長**  
今回の改正では、2020年までに国の判断で指定すると聞いていたので、協議会制度を通じて要望したいと考えている。

**町長**  
国土交通省に直接要望することもしていきたい。



## 無党派 戸谷裕治

**問** 防災から考える保育所のあり方を問う

**答** 防災と保育が一体となった施設は意義のある選択肢である

**問** 保育所は、指定避難所だが、浸水時は2階に避難する。園児と職員で満員である。住民のスペースはあるのか。

**問** 蟹江保育所の周辺には緊急避難場所がない。また、老朽化と災害備蓄品が増え手狭である。防災と保育の複合施設を作るべきではないか。

**次長兼安心安全課長**  
地域ごとに避難行動は異なるが、住民が保育所に避難し、過密状態で孤立することは考えられる。しかし、発災時に命を守るための緊急的な対応と考えている。

**子育て推進課長**

老朽化が進む蟹江保育所の将来を考えると、複合施設は大変意義のある選択肢だと考えられるが、22年度に改築された福祉給食センターは、乳児給食を賄う重要な位置づけを担っているため、しばらく時間をいただき、避難スペースの最も有効的な利用方法やニーズをつかみながら検討していきたい。

**問** ①舟入保育所から指定避難所への移動経路を再確認するべきではないのか。  
②保育士や臨時職員にヘルメットは支給されるのか。

**次長兼安心安全課長**

①浸水津波避難ハザードマップが、今年の6月に町内会に配布されたばかりであり、今後、各地区の内容を精査していく。  
②保育士、臨時職員は、非常配備の職員にはなっていないため配布していないが、今後、検討していく。



**問** JR蟹江駅橋上化と周辺開発を問う

**答** 駅の南、北だけでなく、周辺全てを巻き込んでいく

**問** JR蟹江駅南の開発と新本町線延伸に調査を付け研究することだが、具体的にどのような調査をするのか。

**問** 東名阪自動車道の蟹江インター周辺も駅から近距離である。農業を含めた産業を開発し、駅利用者の増加を町で考える必要があるのではないか。

**まちづくり推進課長**  
駅周辺における今後のまちづくりの方向性、都市施設等の整備の優先順位など、駅北側から駅への広域的なアクセス道路の整備の必要性を検討していくものである。

**次長兼土木農政課長**  
農家経営が安定できる仕組みを、農業改良推進会を中心に考えていきたい。

**問** ①須成地区は駅まで近距離にある。今須成線の進捗状況は。  
②道路のできている須成区側の開発を進めるべきではないか。

**次長兼土木農政課長**

①14年度から拡幅計画用地の買収を進めているが、JR関西本線の南側は、まだ全ての用地を取得できていない。

**政策推進室長**  
農業振興に資する取組について、利益や雇用の拡大を視野に入れて検討していく。また、農産物の6次産業化についても検討していく。

**町長**

提案していただいた内容は、精査させていただきます。

**まちづくり推進課長**

②都市計画画マスタープランにおいて、この地区は、優良農地の保全、集客内住居、環境維持の区域として位置づけられているため、



## 無党派 伊藤俊一

**問** 子ども、子育て支援新制度を問う

**答** 子育てしやすいまちづくりは、町の重点施策



**問** 人口減少対策のため、どのような対策を考えているのか。  
**子育て推進課長**

若い方が希望を持つて暮らし続けられるように、結婚・出産から育児、子どもの成長に至るまで切れ間なくサポートできる環境や仕組みをつくることにより、結婚・出産・子育てをしたくなるまちづくりを目指している。

**問** 保育料が高くて当町の保育所から他市町村へ変わることをなくすために、18歳未満の児童が3人以上の世帯に対しての所得制限を廃止せよ。  
**町長**

第3子以降の保育料無料の事業は、早急に行なう必要はない。事業と位置づけている。

**問** 環境整備をし、若い子育て中の家族が「住んでよかった蟹江町」と思える、子育てしながら働くことのできる環境を整え、子育てしやすいまちづくりを推進せよ。  
**町長**

子育てしやすいまちづくりは、子ども・子育て支援法に伴う重点施策。28年度の予算編成のときに第3子以降の無料化を検討したが、国の施策等がはつきりしていなかった。当町は、0〜2歳児が増えており、来年度に向けてスタートしていきたい。

**問** 最近、町内に配布されている横江町長への批判ビラを問う

**答** 町民の皆さまには大変ご迷惑をおかけした

**問** 今回のビラは、発行者名の記載がなく、伊藤俊一はとも強烈に思い一般質問をすることにしました。  
その訳は、蟹江町、蟹江町議会、蟹江町長のイメージが悪くなっているからである。  
これに対して町長はどう思っているのか。  
**町長**

今年に入ってから、ビラが近隣に投函されていることは認識している。私にとって、非常に悲しいことである。23年、24年に議会で答弁した内容については、全くの偽りもない。それだけは皆さまがたに申し上げる。  
町民の皆さまには大変ご迷惑をおかけした。残念なのは、この文章を誰が出したのかが分からない。  
もし本当にそう思っているのであれば、目の前で私の口から説明したい。  
誰が投函したものか分からないものに何か言うつもりはない。

**問** 大学の卒業学歴についていろいろ書かれているが、23年、24年の議会で、山田新太郎議員の質問に対し、町長は答弁をしたと思っていたが、横江町長はどのように受け止めているのか。  
**町長**

後援会のかたがたに作っていただいたパンフレットに誤字・脱字があり、チェック漏れがあったのは事実であり、全て私の不徳のいたすところである。  
3回のミスが重なったことにより、町議会、町民の皆さまに大変ご迷惑をおかけした。このことについては、議会でしっかり答弁させていただき、ご理解いただいたものと受けとめている。  
今後は、こういった状況を踏まえて、言動など注意していきたい。

## 未来フォーラム 中村英子



**問** 子どもの施設には十分なスペースを確保せよ

**答** 児童に対する施策はしっかりやっていきたい

**問** 蟹江南保育所と蟹江児童館の建設に当たって、駐車スペースの狭さ、車での送迎の問題、児童館の規模が小さい、園庭が駐車場を挟むなどの問題点が当時の議会で指摘されていたが、現状はどうなっているのか。

**子育て推進課長** 駐車場は、南北の道路を挟んで10台ずつ、計20台の駐車スペースがある。運動会などの大きな行事のときは、保護者の皆さま方には、駐車をご遠慮いただき、送迎のみとさせていただきます。

また、西側の広場を臨時駐車場とすることも可能である。

普段の送迎の時間帯には、保育士が車の誘導を行っている。

学童保育では、各部屋定員以内で運用している。

道路西側の園庭利用については、安全のため必ず職員が連れて行き来するように徹底している。

**問** 児童館は過密だと思いが、町長の認識は。

**町長** 現在61人の児童が学童保育を利用している。これは、大変多い状況であり、今後も利用者は増えていくと思われる。もう少し広いスペースが取ればと思うが、施設建設の時点では、最高の決定だったと考えている。

今後増えるであろう児童に対する施策は、これからもしっかりとやっていきたい。

**問** 町所有の空地を利用して公共施設を建設することには限界があるのではないか。

**町長** 建設に当たっては、議員の皆さまからいろいろ指摘をいただいた。あの時点では、精いっぱいの方であったと思っている。

**問** 核兵器の廃絶を心に刻もう

**答** 平和教育は、子どもの発達段階に応じて行っていくことが必要



**問** サミット後にオバマ大統領が広島に来た。歴史的意義のある訪問であったが、町長と教育長の受け止めは。

**教育長** アメリカの大統領が、広島で核廃絶をうたったことは、大変意義のあることであり、歴史的な出来事であると認識している。

**町長** 戦争の事実をしつかりと後世に伝えていく、これが首長の役目だと考えている。

**問** 当町は平和都市宣言をしている。まちの平和事業、学校での平和教育の現状は。

**政策推進室長** 広島平和記念式典中學生派遣事業、平和祈念映画会、原爆パネル展を実施している。

**問** 唯一の被爆国として、子どものころから現地を教えるなどの教育が必要ではないか。国民1人ひとり核廃絶を願う存在であってほしい。

**政策推進室長** 広島平和記念式典中學生派遣事業では、2つの中学校から各5人の中学生を派遣し、平和の尊さなどを学ぶ機会を提供している。

その後、派遣された生徒は、平和祈念映画会や各中学校の文化祭において、平和の伝道師として学んだことを発表している。

**教育長** 修学旅行としては難しい。平和教育は、子どもの発達段階に応じて行っていくことが必要。

6月議会で上程された案件について、委員会で審査した内容をお届けします。

## 総務民生

### 国民健康保険税条例の一部改正

(賛成多数)

問 国民健康保険税の上限額は、昨年も引上げをしており、本年も引上げとなる。今後どうなっていくのか。

#### 保険医療課長

今のところ国から示されてはいないが、超過世帯割合が1.5%に近づくように段階的に賦課限度額を引上げていくという方針は出ている。今後引上げられる可能性はあると考えられる。

問 固定資産税を払って、所得があまりなくても限度額に達する人はいるか。

#### 保険医療課長

資産割だけで限度額に達する可能性はある。

#### 《反対討論》

板倉議員

27年度に引き続き28年度も国民健康保険税の課税限度額の引上げ改正である。国民健康保険税の減額には反対ではないが、低所得者支援のためには、判定基準額をもっと引上げる必要がある。

#### 《賛成討論》

水野議員

法令改正に的確に対応し、国民健康保険税の負担軽減を主に実施される内容であり、妥当である。

## 常任委員会の活動報告～防災建設常任委員会～

防災建設常任委員会では、27年度に「空き家等対策について」、「駅周辺開発について」の2つを所管事務調査として調査することを決定し、今まで調査を進めてきました。

「空き家等対策について」は一定のまとまりを見たため、6月定例会で中間報告が行われましたので、その内容をお知らせします。

### 調査目的

少子高齢化や人口減少等により全国的に空き家が増大しており、適切に管理されず管理不全となった空き家等は、衛生・景観の悪化、防災・防犯性の低下等、周辺への悪影響が懸念されている。当町も例外ではなく、空き家等が引き起こす問題への対策を講じる必要性が生じている。本委員会では、町民の安全で安心な暮らしを確保するため、空き家等対策について調査研究する。

### 調査状況

消防署の平成26年度空家調査報告書によると、町内に空き家は105件あり、空き家を改善するように促す文書を39件発送し、うち11件に文書を再発送している。

また、町安心安全課では、倒壊の危険がある2件を含む21件を把握しており、うち2件は、危険性はないものと判断している。(21年から27年9月7日現在)

町では、28年度に空家実態調査を実施予定、以降の対策案として、空家等対策計画の策定、協議会の設置などを計画している。

### 犬山市の視察を終えて

犬山市では、活力とにぎわいのあるまちづくりを推進するための「空き店舗活用事業費補助金制度」を設け、空き店舗等の有効利用を図るなど、城下町としての特質を生かした取組をしており、当町が今後対策を検討するうえでの方向性の違いも見受けられたが、行政だけでなく町会長会や不動産協会、弁護士会、司法書士会等を含めた関連業界と共同で空家等対策計画の策定などを進めていく空家等問題対策協議会の設置は、当町としても参考になるものと考えている。

### 課題

空き家等対策は、衛生・景観の悪化、防災・防犯性の低下等、多部局にわたる問題を抱えているため、窓口を一本化し、横断的な連携をとりながら情報の収集と提供、相談対策の構築等を行っていくことが不可欠である。

また、協議会を設置し、地域や民間と連携を図り、空き家の適切な管理や利活用、管理不全な空き家の未然防止等に取り組んでいくことが今後の課題となると考える。

今年も開催します

# 議会報告会



町議会では、「開かれた議会」を目指すことを目的として、26年に「議会基本条例」を制定し、議会報告会を開催しています。

3回目となる今回は、常任委員会の報告を中心に町民の皆さまと議員との意見交換を行う場を設けます。

ぜひ、お誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。

○日時 10月29日(土)  
午後1時30分から午後3時まで  
(受付午後1時)

○場所 蟹江中央公民館分館(産業文化会館)  
4階大会議室



資質向上のため

# 議員研修会を行いました

海部郡町村議会議長会(大治町、蟹江町、飛島村の3町村で構成)は、議員資質向上のために次の研修を行いました。

## 議会タブレット研修



去る4月22日、町産業文化会館において、「ICTを活用した議会改革について」と題し、研修会を行いました。

講師には、全国初「オールタブレット&クラウド議会」を実現した神奈川県逗子市の元議員君島雄一郎氏を招き、研修会では、1人1台ずつタブレット端末を使っでの操作方法や講義を受けました。

今後は、この研修会を踏まえ、タブレット端末の議会への導入について検討していきます。

## 質問力向上研修

去る5月10日、町産業文化会館において、「質問力を伸ばし、議会力に活かす」と題し、研修会を行いました。

講師には、龍谷大学政策学部教授の土山希美枝氏を招き、一般質問に関する講演会とグループに分かれての一般質問を題材としたグループ討議を行いました。

これは、政策提案力のある一般質問作成のための理論、理念、コツや技法を学ぶことを目的としています。



## 編集後記



6月議会は、本年秋のユネスコ文化遺産登録に向けて、須成祭を積極的にPRするために、議員、理事者が啓発用ポロシャツを着用しました。

本年も、10月29日に議会報告会を開催します。議会と行政への理解と関心を持っていただければと思います。皆さまの参加をお願いします。

(水野)

## 9月議会の傍聴にお出かけください

### 議会放映

一般質問の様子をクローバーTVで生放映。当日午後7時から再放映も実施!

※議会ホームページにも掲載されています。

2日(金) 開会	13日(火) 12日の予備
5日(月) 2日の予備	16日(金) 決算審査
6日(火) 常任委員会	20日(火) 16日の予備
12日(月) 一般質問	23日(金) 閉会

※議事の都合により日程は変更になる場合があります。

※赤字の会議は傍聴することができます。傍聴席は役場3階にあります。

【問合せ】議会事務局 電話(95)1111(代表)